



西 26015 **変更**

2026 年 9 月

アレルギー検査報告書変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、アレルギー検査報告書〔裏面〕の様式変更を実施いたしますので謹んでお知らせ申し上げます。

ご利用の先生方には何卒ご了承の程、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

■変更内容及び実施日

【実施日】 2026年10月頃より随時変更

【変更内容】

報告書種類	変更内容	備考
アレルギー報告書 ①	【裏面】画像を変更します。 ※2～3頁参照	・表面の変更は御座いません ・出典：サーモフィッシャー ダイアグノスティックス株式会社

【アレルギー報告書① 表面】

以上

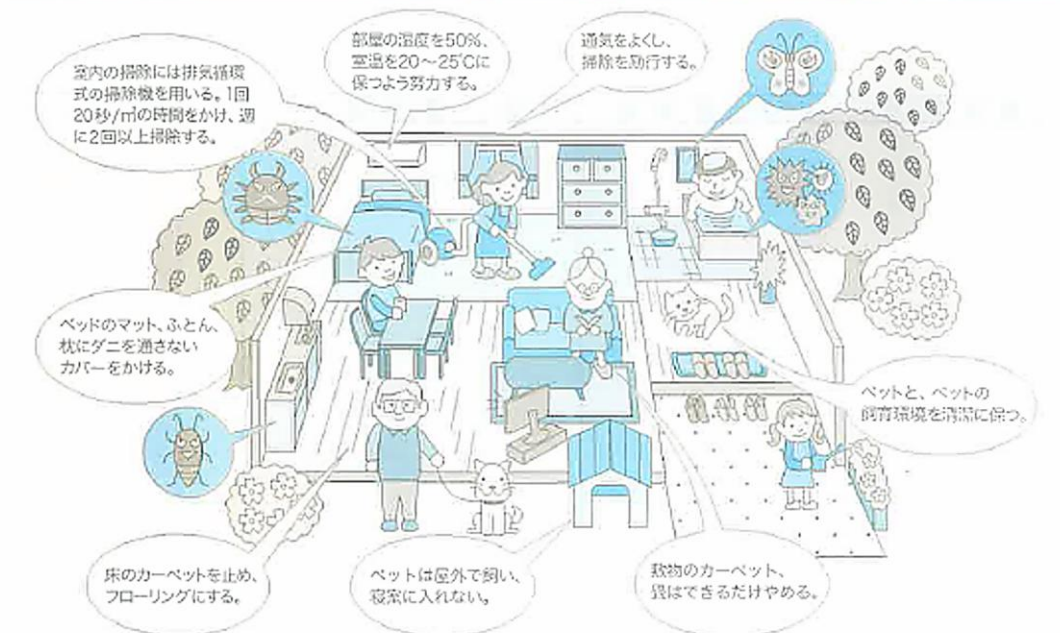
検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当、または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL: 075-631-6230



— アレルギー報告書 ①【裏面】—
【変更前】

家庭でできるアレルギー対策

室内塵、ダニ、カビ、ペット、昆虫など家庭内にある身近なアレルゲンの減量・回避方法です。



原因になるアレルギーの注意点

アレルギー症状は、体調が悪いと悪化するとされています。適度な運動を心がけ、十分な睡眠をとりストレスをためないようにしましょう。

花粉	食物	室内塵・ダニ	昆虫	動物	カビ・真菌
マスクやメガネを活用して原因となるアレルゲンを避けましょう。花粉症の場合、症状が出る前に治療を始めた方が悪化を防止できるとされています。	食物アレルギーは、症状の有無により診断します。アレルギー症状のある場合は、医師とよく相談しましょう。果物を食べると喉や口の中がゆずくなるOAS（口腔アレルギー症候群）という症状もあります。	部屋は通気を良く行い、こまめに掃除をしましょう。寝ている間、寝具による影響を受けやすいものです。ダニの通過できない高密度繊維のカバーやシーツを使い回避すると良いとされています。	節足動物となる昆虫が多い場所には近づかないことが必要です。アナフィラキシー症状を起こすスズメバチなどに刺された場合は、いち早く診察を受けることをお勧めします。	生活空間の改善が必要になります。ペットを飼っている場合はシャンプーをするなどの対策が必要になります。イヌ・ネコなどの動物は室内で飼わないようにしましょう。	5～7月、9～11月は特にカビが活発に繁殖する時期です。浴室・台所・押し入れは通気を良くし、こまめに掃除しましょう。

受診・検査は定期的に

アレルギー症状を起こす部位は、子供のころ皮膚炎、蕁麻疹・食物アレルギーに始まり気管支炎や喘息などに発展するとされています。特に小児におけるアレルギーは、年齢や原因アレルゲンによって症状が変化するため、発症の予防や治療経過をみるために、定期的に受診・検査を受けるように心がけましょう。



【変更後】

アレルギー検査を受けられた方へ

血液検査陽性 = 必ずしもアレルギーではありません。検査結果だけで自己判断せず、必ず医師によるアレルギー診断を受けてください。

室内・室外の吸入系アレルギー*が飛散・浮遊する時期については、下記アレルギーカレンダーを参考にしてください。

*アレルギーとは、アレルギー症状の原因となる物質のことです。

アレルギーカレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
樹木			ハンノキ									スギ
			スギ									
			ヒノキ									
			シラカンバ									
イネ科				カモガヤ・オオアワガエリ など								
キク科							ブタクサ・ヨモギ など					
カビ				アルテルナリア・アスペルギルス など								
昆虫				ガ・ユスリカ					ガ・ユスリカ			
室内塵				ハウスダスト・ダニ・ネコ・イヌ・ガ・ゴキブリ								

植生および時期は地域により若干異なります

飛散時期	花粉	花粉に関連性のある主な食物
春 1~6月	ハンノキ シラカンバ	リンゴ・モモ・大豆(豆乳) など   
2~4月	スギ	トマト 
夏 4~10月	オオアワガエリ カモガヤ	メロン・スイカ・キウイ など   
秋 7~11月	ヨモギ ブタクサ	セロリ・ニンジン など   

花粉 - 食物アレルギー症候群 (PFAS)

花粉症の人の中には花粉アレルギーと交差反応する果物や野菜を摂取したときに唇や口、のどにイガイガ感やかゆみ、腫れを感じる人がいます。気になる症状がある場合は、医師へご相談ください。

原因アレルギーへの注意点

花粉	カビ・真菌	室内塵・昆虫	ペット
	 	 	 
花粉は、季節性アレルギーの代表格です。花粉が飛散している時期はマスクの着用や室内に入る前に上着をはらうなど室内に花粉を持ち込まないことが重要です。	カビは高温多湿な環境を好むことから、こまめな換気や除湿などの湿度対策が重要です。また、加湿器はカビの発生源となることがあるため、定期的な洗浄・除菌を行います。	ダニはホコリやヒトのフケなどをえさとして繁殖するため、室内のホコリをためない対策や寝室・寝具の対策が中心となります。昆虫は湿度の多い環境を好むことから、ダニやカビと同様の対策が有効です。ガはウール類の衣類などに発生することもあるため、衣類の防虫対策が重要です。	ペットを飼育しないことが望ましいとされています。飼育を継続する場合は屋外で飼育し、寝室に入れないことが重要です。公共の場や他者を介してペットのアレルギーにさらされることがあり、周囲の環境にも注意が必要です。

食物

									
食物系項目が陽性でも、普段その食品を食べて症状がなければ、食物アレルギーとは判断できません。検査結果だけで自己判断せず、必ず医師によるアレルギー診断を受けてください。食物アレルギーの原因が特定された場合は、医師の指示に従って対策を行ってください。食品のパッケージに記載されている原材料表示(「一部に〇〇を含む」、「〇〇由来」)は原因食物の除去・回避に重要な表示です。誤って食べてしまわないよう注意しましょう。また、親戚や友人など周囲の人にも理解してもらいましょう。									

出典：サーモフィッシャーダイアグノスティクス株式会社